

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	さんさん館i		
○保護者評価実施期間	令和7年11月4日		～ 令和7年12月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	令和7年11月4日		～ 令和7年12月5日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	14	(回答者数) 14
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	学校との連携、学校での支援を引継ぎ、卒業後も当事業所で安心して過ごしていただけること	児童発達支援管理責任者や一部職員のみで学校見学等を行うのではなく、複数人が実際に学校での様子を見学させていただき、皆で支援を検討すること	学校とのさらなる連携、および関係する支援機関との情報共有などを行い、お子さんの支援に活かす
2	生活介護との多機能型であることで、生活介護ご利用者と共に活動するプログラムを提供できること	将来を見据えて生活介護ご利用者と一緒に活動する機会と、子どもだけで活動する機会・プログラムの策定を意識し、メリハリをつけるようにしている。	活動時間のメリハリをつけること、活動内容や目的、個々のご利用者のニーズについて、さらなる職員周知を行うこと
3	リハビリ専門職からのアドバイスに基づき、支援を検討できること	PTから、ポジショニングや体の緩め方などについてアドバイスをもらい実施した。	今後もPTからのアドバイスをもとに、プログラムの内容や活動中の楽な姿勢や身体の動かし方も検討していく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援前後の職員間での情報共有の在り方	通常の放課後等デイサービスの時間帯は生活介護の送迎や短期入所の受け入れなど、他事業に携わる職員も複数おり、支援前後での打ち合わせの時間がとりにくい。	おやつ支援の後の、活動プログラムに入る前に、活動内容の役割分担などを共有する 個々のお子さんについて課題やニーズを全職員が把握できるよう、現在行っているミーティングの実施回数増を検討する。
2	保護者向け茶話会を開催したが、参加者が少なかった。	茶話会では、どんな内容を望まれているか聴き取り不足であった。グループホーム見学など将来につながる内容も盛り込む。	開催日程・内容の再検討。
3	地域との交流が少ないこと	感染症や感染症対策の面から地域との交流が少なくなった。	事業所全体で地域交流係を設置し、町内会との関係再構築を継続する。